



桃里の風

射水市立中太閤山小学校
学校だより第8号
令和7年12月19日発行
校長 堀 かおり
Email:nakataikoyama@imizu.ed.jp

感謝の気持ちを伝えた「ありがとう集会」

11月28日(水)に、お世話になっている地域の方をお招きして「ありがとう集会」を開きました。1年から6年までのすべての学年の子供たちが準備や運営に関わり、1年生は入退場のお手引き、2年生は招待状の色塗り、3年生はメッセージカード、4年生はプレゼント渡し、5年生は全校合唱のリーダー、6年生はふれあいゲームの進行という役割で「おもてなし」をしました。

全員で行った「じゃんけんゲーム」では、次々とじゃんけんに挑んでくる子供たちに、地域の方々も熱く笑顔いっぱい楽しんでくださいました。また、全校で歌った「ふるさとの空」については、参加者から「一緒に歌いたいのので歌詞カードをつけてほしかった」というリクエストも聞かせていただきました。

ご来校くださった地域の皆様、本当にありがとうございました。ぜひ来年も、子供たちの感謝の思いを伝える機会を設け、たくさんの方にお越しいただきたいと思います。どうぞ、今後も中太閤山小学校をよろしくお願いします。



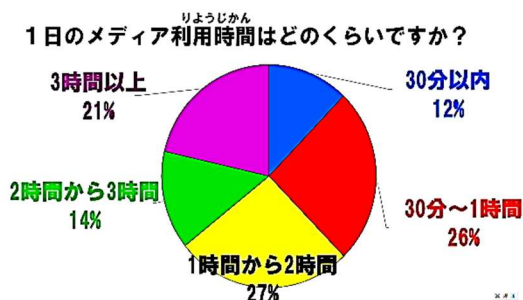
「30-30-30 作戦」とは -学校保健委員会-

12月4日(木)に学校保健委員会を実施しました。今年のテーマは「メディア利用と目の関係」です。まず保健委員会の子供が、中太っ子の視力やメディア利用の実態について発表してくれました。発表内容から「視力が悪化している人が増えている(特に5年生)」ということや、「1日のメディア利用時間が極端に多い人(3時間以上)が、高学年にかなりいる」ことが分かりました。

学校医の大角先生からは、「近視は5～15歳の成長期に進行する」ということや、「近視が進行すると網膜が痛み、将来失明するような病気になりやすい」こと、「残念ながら一度近視になってしまうと、なかなか元通りに回復することは難しい」ということを教えてもらいました。そして、近視がこれ以上進まないようにするためには、「30-30-30作戦」を心がけるとよいと助言していただきました。それは

- ・メディア(スマホやタブレット)と目の距離を、**30cm以上**離す。
- ・**30分**目を使ったら、**30秒**目を休める。

というものです。近視が進む成長期だからこそ、子供たちにはこのことを意識し、自分の目を守ってほしいです。ちなみに、大谷翔平選手の視力は、2.0以上!! 彼は、情報量の多い「メディア」は時間を奪いやすいツールだからと避け、必要最低限しか利用しないようにし、野球に費やす時間や休息時間を大切にしているそうです。さすが一流の人は自己管理能力が高いですね。



はじめての開催！「なかたい音楽フェス」

12月12日(金)に第1回の「なかたい音楽フェス」を開催しました。子供たちから合計9チームの出場があり、素敵な歌声や合奏を披露してくれました。教員も子供チームに交じって演奏に加わったり、教員だけで「おわら」の歌や踊りを披露したりする場面もありました。ちなみに、「おわら」は用務員の中村さんと教頭先生が歌い手となり、胡弓や三味線は中村さんのお友達がゲスト参加し演奏してくださいました。

フェスというだけあり、お祭り気分満載です。子供たちは、クリスマス風の帽子をかぶったり、名探偵コナンのリボンを首元につけたりして、演出を楽しんでいました。初めてのイベントに果敢にチャレンジした子供たちには心から拍手を送りたいです。今後もこのような楽しいイベントを続け、積極的に自分を表現しようとする子供を育てたいものだと思います。



【おそろいの帽子をかぶって演奏する2年生】

各学年の様子を紹介します

1年 初めての書初め

黒のクレパスを用いて「こうま」という文字を慎重に書いています。



2年 おもちゃランド

手作りおもちゃがいっぱいのおもちゃランドに1年生を招待しました。



3年 射水っ子体力アップ応援事業

心と身体のウォーミングアップを十分に行った後、跳び箱運動に取り組みました。



4年 歌声タイム

あの3人の妖怪が再び登場し、すてきな歌声で4年生の仲間と友達になりました。



5年 園児との交流学習

園児が喜びそうな楽しい遊びをたくさん考えて、地域の保育園に交流に行きました。



6年 ミシンでバッグづくり

学校ボランティアさんにミシンのお手伝いをしてもらいながら、トートバッグを完成させました。



このQRコードからホームページを見ることができます。
ほぼ毎日更新しているので、ぜひご覧になってください。